

五分館だより

第88号
第 五 分 館
編集／社会部
印刷／燦プランニング
堀越の今日
戸 数 84戸
人 口 310人
(男142 女162(外国人4))
平成27年3月1日現在



第五分館学習会

2月15日に分館学習会が行われました。今年は満蒙開拓団体験者の久保田諫さんを招き、旧満州国に開拓移民として送り出され、満州開拓団員が、敗戦で受けた悲惨な歴史を学びました

満蒙開拓団の悲惨な歴史を聴講して

堂平 松村 勝

二月十五日分館か学習会があり、「河野村開拓団の最後」と題して、ただ一人の生き残りとなられた久保田諫さんのお話があった。折りから映画「望郷の鐘」

豊丘上映の近いこともあって、大勢の皆さんが聴講に訪れた。昭和二十年、十六才以上の男子が根こそぎ動員され、開拓団に残ったのは、老人と女子供だけとなり、運命の八月十五日を迎えることになる。敗戦直後の混乱の中で、六十九名の人達が「集団自決」に追い込まれた悲惨な状況を、淡々と語る久保田

第三回ボウリング大会

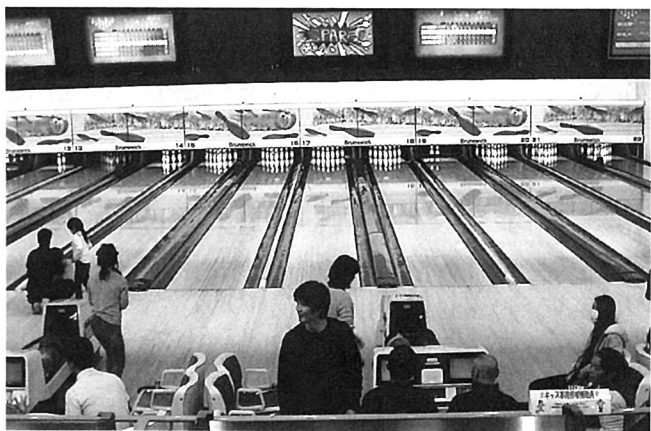
次回はもう少し

良い結果を

上垣外 武田愛理

さんが、最後に、国策で満州に渡った私達は、被害者であるが、加害者でもあった。戦争は絶対にしてはな

らないと、力をこめて語られたのが心に残った。



ボウリング大会に参加して

西部 平 克久

今回初めてボウリング大会に参加しました。私自身、ボウリングはあまり好きではないので、楽しめるかどうか疑問に思っていました。しかし、実際にやっていると皆さんと一緒に一喜一憂しながら楽しむことが出来ました。またフォームの悪い所を丁寧に教えてもらい勉強にもなりました。結果的にはブービー賞でしたが、地域の方々と一緒

楽しかった

ボウリング大会

東 くぼた ゆみ

になって楽しめて本当に良かったと思います。次回も参加して、今回よりもいい結果がでるように練習していこうと思います。

二月八日の午後一時三十分から公民館によるボウリング大会が開催されました。私は家族四人で参加しました。私は今年自分でボウリングの玉を選びました。そして一人でがんばってボウリングの玉をなげました。結果はブービー賞でしたが半日たのしいボウリング大会ができて、うれしかったです。また来年もボウリング大会に参加してがんばりたいと思います。

がんばった

ボウリング大会

東 三澤莉音

私は、ボウリング大会でがんばったことは、ボールがまがらないようにうでをまっすぐにしたことです。ゲーム目は、ボールがまがっちゃったけど、二ゲーム目は、ほとんどボールが曲がらないようになりました。結果は、ブービー賞でした。でも、賞がとれてよかったです。来年は、ブービー賞じゃない賞がとれるようになります。

たいです。がんばるぞー。ボウリング大会結果

●一般男子

優勝 後澤 薫

準優勝 松下浩之

三位 久保田茂吉

●一般女子

優勝 宮下貴子

準優勝 松下鮎美

三位 西元まなみ

●小学生四年以上

優勝 後澤こうき

準優勝 林 龍之介

三位 林 礼人

●小学生三年以下

優勝 久保田奈々美

準優勝 三澤莉音

三位 堀本結愛

●ブービー賞

平 克久

武田 愛理

三澤 莉音

久保田 由美



本館主催冬季スポーツ大会

毎年恒例の本館主催冬季スポーツ大会が二月十一日 村民体育館で行われました。堀越からも五名の方が参加され、ソフトバレーを楽しんで来ました。

地域の人と交流が 出来たスポーツ大会

胡芝 堀本有希

二月十一日に冬季スポーツ大会が行われました。日頃、バレーボールをすることはありませんが、地域の方と交流できるいい機会になると思い、参加しました。結果は三位でしたが他の地区の方とも交流ができました。とてもいい機会になりました。



出て行けたらと思います。

小雨の中の 美化運動

駒沢 松下浩之

三月一日(日)の午後から、例年行っている美化運動を公民館役員十数名で行いました。

当日は小雨の中、カップを貴意の作業となりましたが三班に分かれ黒谷線・広域農道・胡桃沢線沿線のゴミを一時半歩きながら拾いました。

ゴミの中身は、よくある空き缶やペットボトルやタバコの吸い殻などが大半でしたが、最後に皆が集めたゴミをまとめると結構な量になりました。これでも以前に比べると大分少なくなってきたようです。電化製品のよう不法投棄無かつたので、このままゴミが減少していく事を願います。また、その日の夜は公民

二十六年度 事業を終えて

主事 小椋 司

三月二十二日マレットゴルフ大会が開催されました。諸事情により参加者は七名と少なかつた事が気になりますが分館役員も混ざり天神マレットゴルフ場に楽しい声が響きました。優勝は越野渡さん、二位久保田一弘さん、三位堀本明一さん、ブービーに西元順三さんとなりました。小春日和の陽だまりの時間を持てました。

二十六年度の最後の事業となりました。私としては初めての一年が過ぎた訳ですが、分館の二十六年度の事業を終えての役員の反省会では様々な意見が出ました。少子高齢化と過疎化の同時進行がすすんでいる状況の中で私達が担う事はどんな事なのか、事業形態も含め様々な案が出ました。「実生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の鈍化を図り、生

てする(社会教育法第二十条)」とあります。堀越らしい改善と対策ができればと思います。ですが主体は区民の皆様です。参加者があつての分館事業ですので今後ともご協力をお願い致します。

また来年度以降になります。また区及び審議委員会の皆様及び役員含め見直しをして行きたいと検討してありますので、思い、ご希望でもよろしいので、ご意見等あればご一報をお願いします。

館役員で平成二十六年市民館事業の慰労会を座光寺の居酒屋で行い、一年間の労を労いました。一年間お世話になりました。

二十六年度の反省と 二十七年度の思い

分館長 福島昭治

日頃公民館活動にご理解ご協力頂きまして誠にありがとうございます。二十六年度の事業計画もすべて終了しました。ご協力頂き大変ありがとうございました。毎年同じ事業計画ではあります。役員会等で検討したり一つの事業に対して中身を変えたり月日を変更して行ってきました。自治会、運営審議委員会など役員してやってまいりました。

先日役員で反省会を行いました。新しい事業計画案月日の変更案中身の変更案など出ました。三役会議でも色々話し合いをしました。又区民の皆様にも多くの意見を出して頂き、役員会、運営審議委員会でも検討審議してまいりたいと思っております。よりよくお願いいたします。そうして公民館活動が益々充実して中身のある活動にし、楽しくできる様役員一同頑張ります。

い分館活動目指して行きたいと思しますので、応援ご協力の程よろしくお願いいたします。

これから 分館活動を考えて

主事 田島 亨

先日、二十六年度最後の役員会が開かれ今年度の反省と来年度への要望や意見が全員から出された。長年役員を続けているとマンネリになり、挑戦する事をせず穏便に事を進めようとしてもしてしまふ。反省するばかりである。しかし今回は、今年度初めて役員になられた方々から数多くの新鮮で貴重な意見を聞く事が出来た。例えば夏季スポーツ大会や運動会など、各自治会が単独での参加が難しくなってきた昨今、チームの編成などに工夫を凝らし出来る範囲で継続していく事が望ましい。「継続は力なり」の言葉どおり改善すべき点は改めて消費税も益々上がる中、予算面でも年々厳しく各事業の見直しも必要になってくると思う。団体対象での事業がいよいよ行詰まった時点で内容も変更し対象者を個人個人に向けていけば良いとも思う。これから区民の皆さんからのご意見を伺いながら少しでもよりよい分館活動が出来れば自分出来る範囲で頑張りたいと思ふ。今後も分館にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

黒谷箋

相田みつをさんの詩に「自分の番いのちのバトン」という詩がある。

自分の番いのちのバトン 父と母で二人 父と母の両親で四人 そのまた両親で八人 こうしてかぞえてゆくと 十代前で千二十四人 二十代前では……? なんと百万人を越すんです 過去無量のいのちのバトンを 受けついで いまここに 自分の番を生きている それが あなたのいのちです それがわたしのいのちです 今の自分は、連綿と続く ご先祖の方々があつて、はじめてこの世に生を受けることができた。 百万人の肉の一人が、子供の頃に病気や戦で亡くなっていたら、あるいは子供が授かっていなかったら、今の自分はいなかった。自分が今の世に在ることの不思議さ、先祖に感謝をせずにはいられない。 先祖からいただいた大切ないのちを粗末にすることのない生き方をしなければならぬ。 命に関わる事件を耳にすることの多い今日、命について考えさせられる。 ゴールのない命のバトンを 受けたいものとして

体育部 三澤 学